

5、三春の地質をたずねて

(1) 沢石の石英

沢石地区から^{あ だちぐんしらさわむら}安達郡白沢村にかけての地下には、セキエイの^{こうみやく}鉱脈があり、昭和36年ごろから^ほ掘りだされている。

セキエイの良質のものは、無^{りょうしつ}色透明のかなり硬い石で、ガラスのような割れ方をする。カコウ岩やアンザン岩には、小さな^{つぶ}粒となってふくまれていることが多いが、この辺りのものはセキエイだけが大きな塊^{かたまり}となっており大へん良質である。

このセキエイは、美しい結晶^{けっしょう}面をもった水晶^{すいしょう}となって掘り出されることもある。

セキエイは、ガラスやレンズ^{げんりょう}の原料の外に、コンピューターやレーザー通信機^{つうしんき}の部品の原料としても使われている。

この地区からは、セキエイのほかに不透明^{ふとうめい}で白色やうす茶色をし、きまった割れ方をするチョウ石も産出している。



セキエイ



水晶



チョウ石